

ありまふじ里山だより

Vol.30

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.30は棚田里山エリアの自然の様子と里守の会の活動についてお届けします。



初夏の雰囲気

棚田里山エリアでは、梅雨の雨を受けて、里山の木々が葉を鬱蒼と茂らせ、葉の色もすっかり濃い緑に様変わり。そのおかげで里山の濃い緑と棚田の淡い緑が見事なコントラストを生み出し、目にも美しい里山風景が広がっています。

畑のトマトではニイニイゼミの抜け殻を発見。ここで羽化したようです。

7月も間近に迫り、初夏の雰囲気を感じさせてくれる棚田里山エリアです。



里守の会、活動日！

まだ畝ができていない中、サツマイモの苗が先に届いてしまう状況に。この日も急いで3つの畝を完成させ、苗を植えつけました。急いだ理由はもう一つ、この日は夜から雨が降る予報だったので、それに間に合わせるように植えたかったのです。

これで秋には子どもたちと一緒にサツマイモ掘りイベントができるかな。

畑の片隅では、里芋が一段と大きくなり、その葉っぱに隠れるように、ある野菜の芽が伸びてきました。これは草との見分けが難しい。

